

ご卒業おめでとうございます



総長  
ほかま 外間 寛 ひろし

ご卒業おめでとうございます。  
今ここに社会人として第一歩を

踏み出す新たな期待や喜びとともに、長い学園生活に別れを告げるに当たって、様々な思い出が駆け巡っていることと思います。

皆さんが本学で学ばれた4年間は、国内外ともに、まさに激動の時代でありました。

昨今、世界情勢は劇的な大変革が相次ぎ、国内においては日本経済が構造改革および財政再建など、今なお景気回復の兆しが見えないまま深刻な社会状況が続いています。皆さんはこうして厳しく先行きの不透明

な社会情勢の中に社会人として踏み出すこととなります。

皆さんのそれぞれの卒業後の進路先において、皆さんが持っている最大の特権である「若さ溢れる豊かな知性と感性」を遺憾なく発揮して活躍されることと思いますが、私からは次の3つのことを要望したいと思います。

ひとつは、「自ら仕事の能力を高めるよう絶えず努力すること」

仕事はさまざまな知識を要求します。大学で修得した知識は、専門的な分野での基礎的なものが多いと思います。既修未修にかかわらず積極

的に何事にも挑戦して、自分の仕事に精通するよう心がけてほしいと思います。

2つ目は、「協調の精神をもつこと」

いまは、どこでも仕事組織化されています。多くの人びとの協調によって仕事が進みます。そこでは、上司・同僚の間で信頼関係を築くことが必要とされます。

最後に「ものごとを正しく判断する力を身につけるように努めること」

これからは責任ある立場に立ちます。判断に迷うことがらについて判断をしなければならぬこと、また、倫理・道義の問題に関わりをもつことも少なくありません。責任のある

立場に立つての判断・決定は、当然、周囲に大きな影響を与えます。自分の判断についての責任を自覚するためにも、「正しい」とはどういうことか日ごろから考えを深める訓練を積むことが大切なことだと思います。

以上3つの要望を卒業生へのメッセージとしたいと思います。皆さんの一人ひとりがどのような職場にあっても、たんに仕事がよくできるというのでなく個人として信頼され、尊敬される人間になってほしいということがあります。

最後に中央大学が皆さんを誇りにもっていること、皆さん一人ひとりが中央大学であることを忘れないで下さい。そしていつでも、この母校を訪ねて、教師との旧交を温め、後輩との交流を深めていただきたいと思えます。

皆さんのご健康とご多幸を心より祈念いたします。

